



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月13日

上場会社名 株式会社ZenmuTech 上場取引所 東
コード番号 338A URL <https://zenmutech.com/>
代表者 （役職名）代表取締役社長CEO （氏名）阿部 泰久
問合せ先責任者 （役職名）取締役CFO （氏名）酒井 茂輝 TEL 03 (6260) 6195
半期報告書提出予定日 2025年8月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無（決算説明動画を配信予定）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	304	△24.2	△24	—	△18	—	△13	—
2024年12月期中間期	402	—	139	—	139	—	102	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	△11.25	—
2024年12月期中間期	96.59	—

- （注）1. 当社は2023年12月期中間期については中間財務諸表を作成していないため、2024年12月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。
2. 2024年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。
3. 2025年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	951	643	67.1
2024年12月期	656	237	35.4

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 638百万円 2024年12月期 232百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	850	31.0	112	47.0	145	72.5	159	102.9	123.50

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 中間財務諸表及び主な注記 (4) 中間財務諸表に関する注記事項 (中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期中間期	1,359,000株	2024年12月期	1,072,800株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	一株	2024年12月期	一株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年12月期中間期	1,219,324株	2024年12月期中間期	1,062,800株

(注) 当社は2024年11月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。2024年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数 (中間期) を算定しております。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく変更する可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnet及び当社ウェブサイトにて同日開示いたします。併せて、決算説明動画も当社ウェブサイトにて同日掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況.....	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間における当社を取り巻く経営環境につきましては、AIの進化、IoT・ドローンの普及、DXの進展により情報技術の可能性がますます広がる一方、サイバー攻撃のリスクも高まり、企業には迅速かつ高度なセキュリティ対策が求められております。

当社は「情報そのものを意味のない状態に変えて分散する」という秘密分散技術により、データが盗まれても情報漏洩を防ぐという新しいアプローチのセキュリティ技術を活用し、リモートワーク・ハイブリッドワークが定着した現在のニーズに沿った低コストでありながらセキュリティとユーザー利便性を両立する「ZENMU Virtual Drive(ZVD)」の法人向け販売を引き続き強化いたしました。

また、PC向けのZVDだけではなくIoT機器やドローンなど様々なデバイスや多要素認証などの用途に対し、技術供与や共同開発といった提携により秘密分散技術の適用領域と市場の拡大に取り組んでまいりました。

当中間会計期間におきましては、VDIやDaaS利用時のFAT PCのデータ保護をより完全なものとするために、従来のセキュアFATソリューション「ZENMU Virtual Drive Enterprise Edition (ZEE)」の機能を制限した「ZENMU Virtual Drive Limited Edition(ZLE)」の提供開始、大規模な自然災害や広域災害時にもZVDを継続してご利用いただけるよう「ZENMU Virtual Drive ディザスタリカバリ オプション」のサービスを開始いたしました。

さらに、秘密分散技術のドローン実装に関する実証試験に成功したことにより、ドローンが送受信する映像や制御信号や機体内に記録されるデータをリアルタイムに“無意味化”することで、サイバー攻撃や機体の紛失時にも情報漏えいを防ぐシステム構築へ前進いたしました。加えて医療AIプラットフォームの社会実装を促進し、医療の質の向上や医療関係者の負担の低減、そして医療DXの実現や「医療分野におけるSociety 5.0の実現」に貢献することを目指す医療AIプラットフォーム技術研究組合(HAIP)に参画いたしました。

既存製品の販売強化や秘密分散技術の適用領域と市場の拡大に取り組んでまいりましたが、前年同期と比較しますと、当中間会計期間における営業成績の進捗はやや緩やかなスタートとなりました。これは、当上期に予定しておりました大型案件の受注が下期にずれ込んだことと、前年同期に一時的な大型案件による売上・利益の増加があったことが主な要因となりますが、今後の成長に向けた基盤構築が着実に進んだものと考えております。

この結果、当中間会計期間の経営成績は、売上高304,618千円(前年同期比24.2%減)、営業損失24,149千円(前年同期は139,777千円の営業利益)、経常損失18,536千円(前年同期は139,354千円の経常利益)、中間純損失13,715千円(前年同期は102,650千円の中間純利益)となりました。

なお、当社は情報セキュリティ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間会計期間末における流動資産は882,024千円となり、前事業年度末に比べ278,456千円増加いたしました。これは主に、東京証券取引所グロース市場に上場した際の増資等により現金及び預金が295,506千円増加、売掛金が46,633千円減少したことによるものであります。固定資産は69,013千円となり、前事業年度末に比べ15,592千円増加いたしました。これは主に、ソフトウェア製品のリリース等に伴い無形固定資産が10,199千円増加、投資その他の資産が4,859千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は951,037千円となり、前事業年度末に比べ294,048千円増加いたしました。

(負債)

当中間会計期間末における流動負債は307,554千円となり、前事業年度末に比べ100,416千円減少いたしました。これは主に、サブスクリプション契約の売上計上により契約負債が43,175千円減少、未払法人税等が12,509千円減少、借換えに伴い1年内返済予定の長期借入金が119,164千円減少、短期借入金が100,000千円増加したことによるものであります。固定負債は前事業年度末と比較して11,195千円減少し、残高はありません。これは長期借入金を全額返済したことによるものであります。

この結果、負債合計は307,554千円となり、前事業年度末に比べ111,611千円減少いたしました。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産合計643,482千円となり、前事業年度末に比べ405,659千円増加いたしました。これは、東京証券取引所グロース市場に新規上場した際の増資等により資本金が213,545千円及び資本剰余金が205,829千円増加、中間純損失13,715千円の計上により利益剰余金が減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は67.1%(前事業年度末は35.4%)となりました。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は前事業年度末に比べ295,506千円増加し、802,773千円となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は61,726千円(前年同期は25,265千円の増加)となりました。これは主に、契約負債の減少額が43,175千円、税引前中間純損失の計上が18,536千円等により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は16,894千円(前年同期は4,018千円の減少)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出15,908千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は374,127千円(前年同期は7,582千円の減少)となりました。これは主に、東京証券取引所グロース市場への新規上場に伴う株式の発行による収入397,770千円、短期借入れによる収入100,000千円、長期借入金の返済による支出130,359千円によるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の業績予想につきましては、2025年3月27日付「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位: 千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当中間会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	507,266	802,773
売掛金	74,558	27,924
仕掛品	2,288	355
その他	19,454	50,970
流動資産合計	603,567	882,024
固定資産		
有形固定資産	2,246	2,780
無形固定資産		
ソフトウェア	11,767	25,515
ソフトウェア仮勘定	8,497	4,948
無形固定資産合計	20,264	30,464
投資その他の資産	30,909	35,769
固定資産合計	53,421	69,013
資産合計	656,988	951,037
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	119,164	—
未払法人税等	12,509	—
契約負債	205,952	162,776
賞与引当金	15,195	10,667
その他	55,149	34,110
流動負債合計	407,970	307,554
固定負債		
長期借入金	11,195	—
固定負債合計	11,195	—
負債合計	419,165	307,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	219,650	433,195
資本剰余金	387,295	593,125
利益剰余金	△374,399	△388,115
株主資本合計	232,545	638,205
新株予約権	5,277	5,277
純資産合計	237,823	643,482
負債純資産合計	656,988	951,037

(2) 中間損益計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	402,128	304,618
売上原価	33,033	40,088
売上総利益	369,095	264,529
販売費及び一般管理費	229,317	288,678
営業利益又は営業損失(△)	139,777	△24,149
営業外収益		
受取利息	0	250
補助金収入	—	21,662
その他	10	0
営業外収益合計	10	21,912
営業外費用		
支払利息	433	1,411
株式交付費	—	13,888
上場関連費用	—	1,000
営業外費用合計	433	16,299
経常利益又は経常損失(△)	139,354	△18,536
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	139,354	△18,536
法人税等	36,703	△4,820
中間純利益又は中間純損失(△)	102,650	△13,715

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	139,354	△18,536
減価償却費	7,347	5,618
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△4,527
受取利息	△0	△250
支払利息	433	1,411
補助金収入	—	△21,662
株式交付費	—	13,888
上場関連費用	—	1,000
売上債権の増減額(△は増加)	△14,533	46,633
棚卸資産の増減額(△は増加)	—	3,105
前払金の増減額(△は増加)	△8,483	△5,151
前払費用の増減額(△は増加)	△5,872	△13,419
未払金の増減額(△は減少)	△18,225	△2,270
未払費用の増減額(△は減少)	△6,324	△1,614
未払消費税等の増減額(△は減少)	△126	△13,270
契約負債の増減額(△は減少)	△56,724	△43,175
その他の資産の増減額(△は増加)	△20	152
その他の負債の増減額(△は減少)	441	△9,298
小計	37,265	△61,366
利息の受取額	0	250
利息の支払額	△429	△1,424
補助金の受取額	—	8,376
法人税等の支払額	△11,570	△7,561
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,265	△61,726
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,131	△986
無形固定資産の取得による支出	△2,887	△15,908
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,018	△16,894
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△7,582	△130,359
株式の発行による収入	—	397,770
ストックオプションの行使による収入	—	7,716
上場関連費用の支出	—	△1,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,582	374,127
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,665	295,506
現金及び現金同等物の期首残高	308,217	507,266
現金及び現金同等物の中間期末残高	321,882	802,773

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

当社は、情報セキュリティ事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当中間会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

当社は、情報セキュリティ事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年3月27日に東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり2025年3月26日を払込期日とする有償一般募集増資による新株式240,000株の発行及び、2025年4月18日付で第三者割当増資による払込みを受け、資本金及び資本準備金がそれぞれ205,829千円増加しております。

また、新株予約権の行使により、資本金が7,716千円増加しております。

これらの結果、当中間会計期間末において資本金が433,195千円、資本剰余金が593,125千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。